

2018年(平成30年)10月17日

「平成30年7月豪雨」等の影響について

2018年度は、6月の「大阪府北部地震」をはじめ、数々の災害に見舞われました。特に「平成30年7月豪雨」では、その後の台風24号の影響も併せて長期間にわたり山陽線が不通となり、お客様をはじめ関係の皆様にも多大な御迷惑をお掛けしました。

西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)の懸命な復旧作業の結果、先般13日、101日ぶりに山陽線が全線で運転を再開しましたが、この間、JR西日本や利用運送事業者の多大なご協力により、迂回輸送やトラック・船舶による代行輸送を実施してきました。

これらの災害影響及び実施した対策について、以下のとおりお知らせします。

当社は、今回の災害等の影響を踏まえ改めて対策を検討し、貨物列車の運行に関してより一層安全・安定輸送の向上に努めてまいります。

1. 不通期間(別紙1参照)

2018年(平成30年)7月5日(木)から同年10月12日(金)までの100日間

※ 広島貨物ターミナル駅以東 2018年(平成30年)9月30日運転再開

広島貨物ターミナル駅以西 2018年(平成30年)9月9日運転再開した後、9月29日に台風24号の影響による土砂流入が発生し再度運転中止

2. 延べ運休本数

コンテナ列車 4,359本、車扱列車 62本、合計 4,421本

3. 不通区間対応策

(1) 迂回列車の運転

① 運転区間 名古屋貨物ターミナル駅～福岡貨物ターミナル駅 間

② 迂回区間 岡山貨物ターミナル駅～(山陽線)～倉敷駅～(伯備線)～伯耆大山駅～(山陰線)～益田駅～(山口線)～新山口駅～(山陽線)～幡生操車場 間

③ 実施期間(迂回区間運転日)

上り・・・8/31～9/28、10/6～10/11(30本)

下り・・・8/29～9/28、10/6～10/11(32本)

④ 輸送量 2,075個(12フィート換算)

(2) トラック代行輸送

① 実施区間・期間 別紙2・3参照

② 輸送量 36,160個(12フィート換算)

(3) 船舶代行輸送

① 実施区間・期間 別紙2参照

② 輸送量 20,842個(12フィート換算)

※ 迂回・代行合計で不通区間輸送量の最大26.6%をカバーしました。

4. 山陽線不通による減送量(暫定値)

1,633.2千トン

「平成30年7月豪雨」等に伴う不通区間の状況について

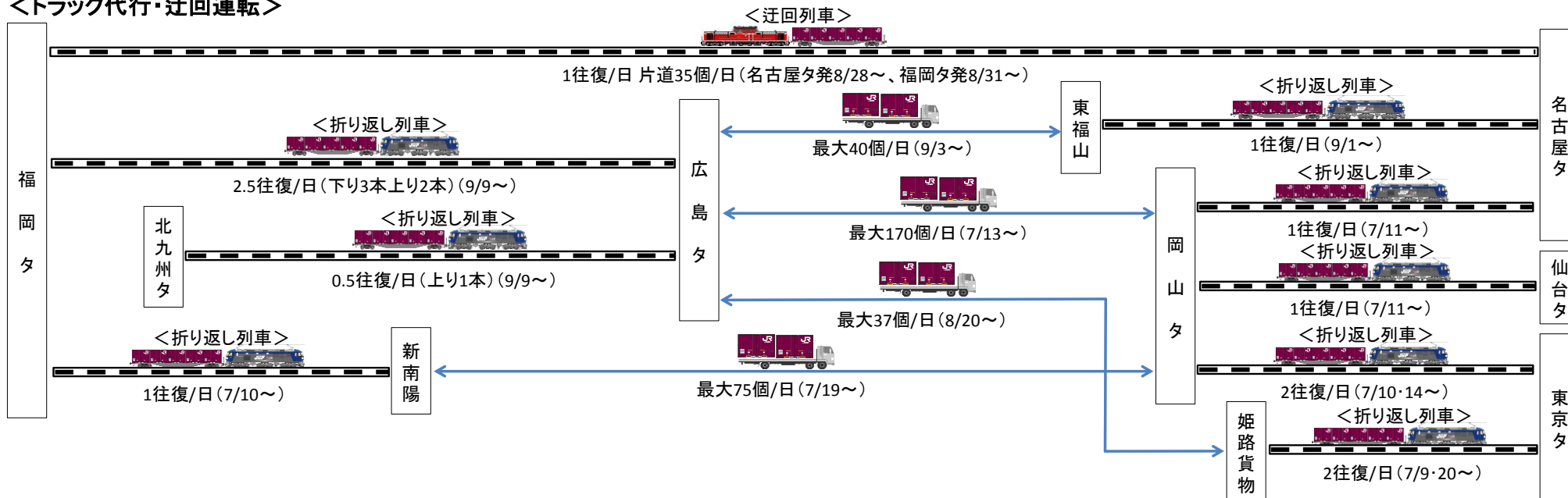


※(夕)は「貨物ターミナル」の略

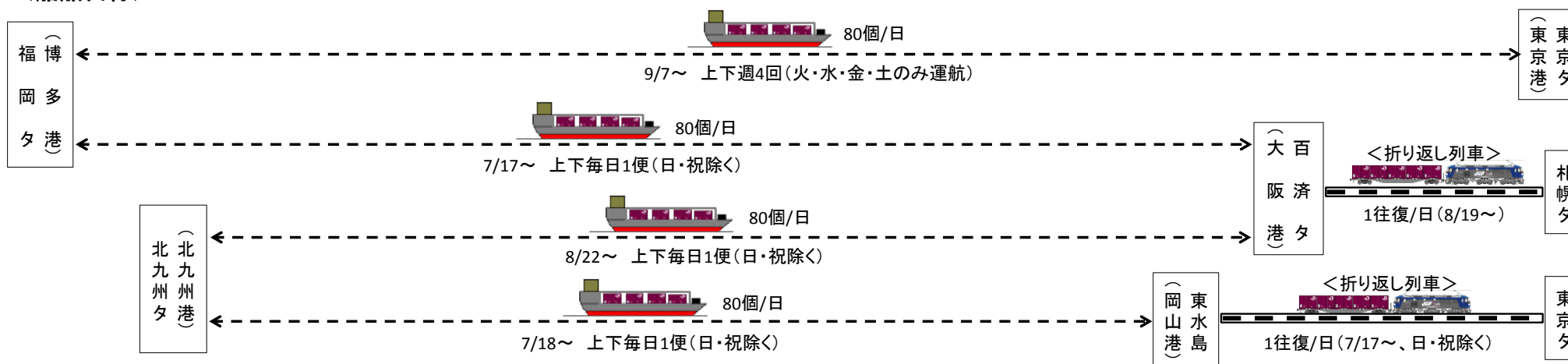
「平成30年7月豪雨」の影響による代行輸送・迂回運転

(2018年(平成30年)9月26日現在)

<トラック代行・迂回運転>



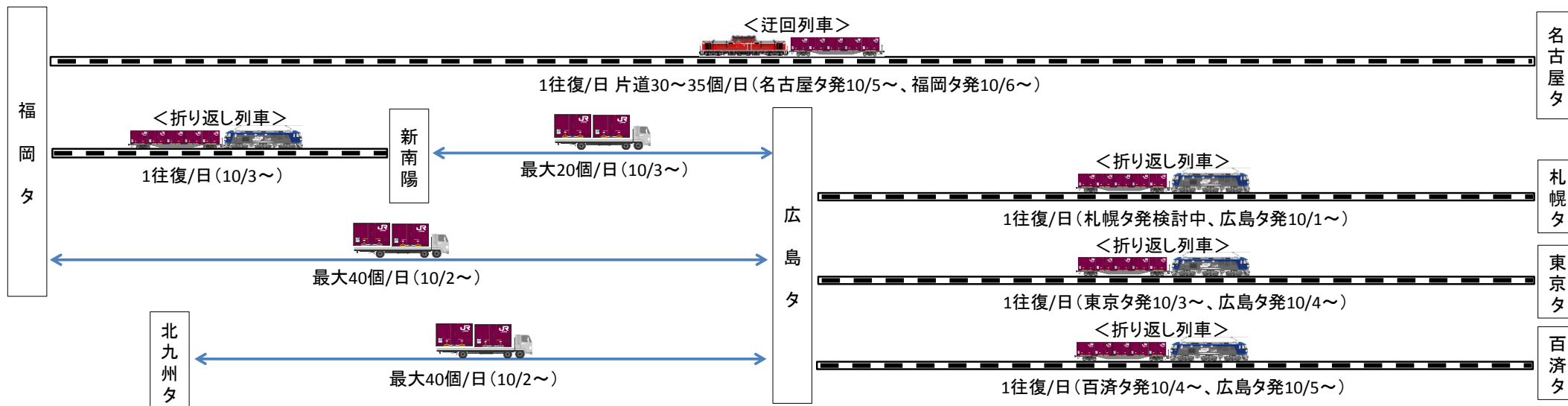
<船舶代行>



- ※ 「タ」は「貨物ターミナル」の略
- ※ 船舶代行の個数は使用する船舶によって変わることがあります。
- ※ トラック、船舶の代行区間に記載されている数値は片道の12フィートコンテナ輸送力となります。

確保できる予定の代行輸送力
最大678個/日

台風24号の影響によるトラック代行輸送・迂回列車運転
(2018年(平成30年)10月4日時点)



※ トラック代行区間に記載されている数値は片道の12フィートコンテナ輸送力となります。
※ 「タ」は「貨物ターミナル駅」の略

確保できる予定の代行輸送力
最大265個/日